

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-210	14-324	慶應義塾大学
題名(原題/訳)		
Neuroprotective mechanisms of oxygen and ethanol: a potential combination therapy in stroke. 酸素とエタノールによる神経保護の機序:脳卒中での強力な併用療法。		
執筆者		
Parmar S, Moore-Langston S, Fredrickson V, Kim JM, Rastogi R, Elmadoun O, Ding Y.		
掲載誌		
Curr Med Chem. 2015;22(10):1194-204.		
キーワード	PMID	
脳卒中、酸素療法、エタノール療法	25620099	
要旨		
<p>現在、脳卒中研究者は、虚血によって誘発された損傷から脳を保護する神経保護の戦略を開発するために競争している。現在まで、動物実験で見込みを示した神経保護の薬剤は、臨床試験では失敗に終わった。</p> <p>虚血性脳卒中の病態生理学が細胞性損傷に通じている多くの経路を利用するので、神経保護の薬剤の組合せは単剤より — 複数の機序に介入することによって — 実質的に良好な結果を提供する可能性がある。</p> <p>本論文では、我々は、基準気圧の酸素(NBO)とエタノールで併用療法を使用するアプローチを考察する。</p> <p>研究は NBO 治療が組織酸素化を改善することを示す。それによって、脳卒中発症の後早く投与されるとき、低酸素性損傷の範囲を低下させて組織壊死の発現を減速する。</p> <p>研究は、低容量から中程度のエタノールが脳卒中のリスクを低下させるだけでなく、虚血後の後遺症も減らすことをも証明した。</p> <p>本論文は、脳卒中治療の脈絡の中で、NBO とエタノール併用療法としてのそれらの使い方について、NBO とエタノール療法の歴史、動きのそれらの機序、鍵となる臨床試験の結果と正当性をチェックする。</p>		